

[休眠預金活用事業]

公募前研修
情報公開・広報の留意点

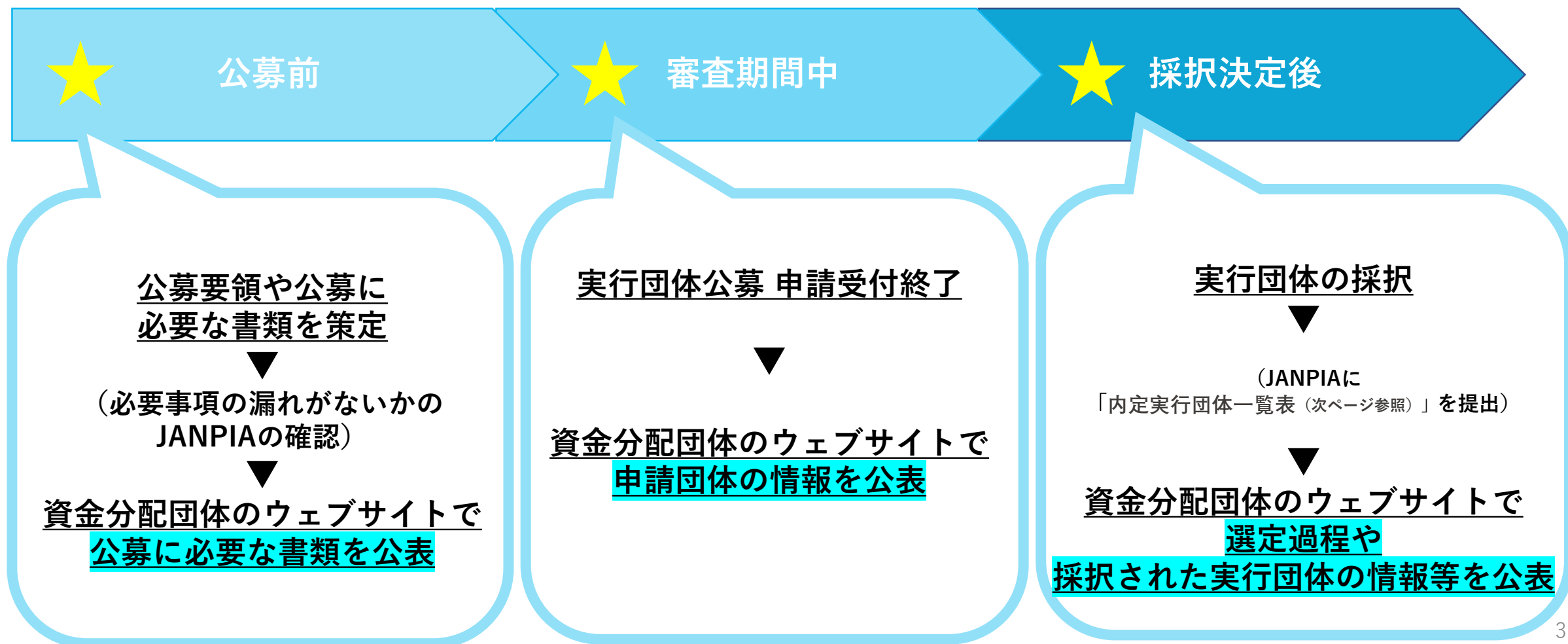
JANPIA 企画広報部



【復習】

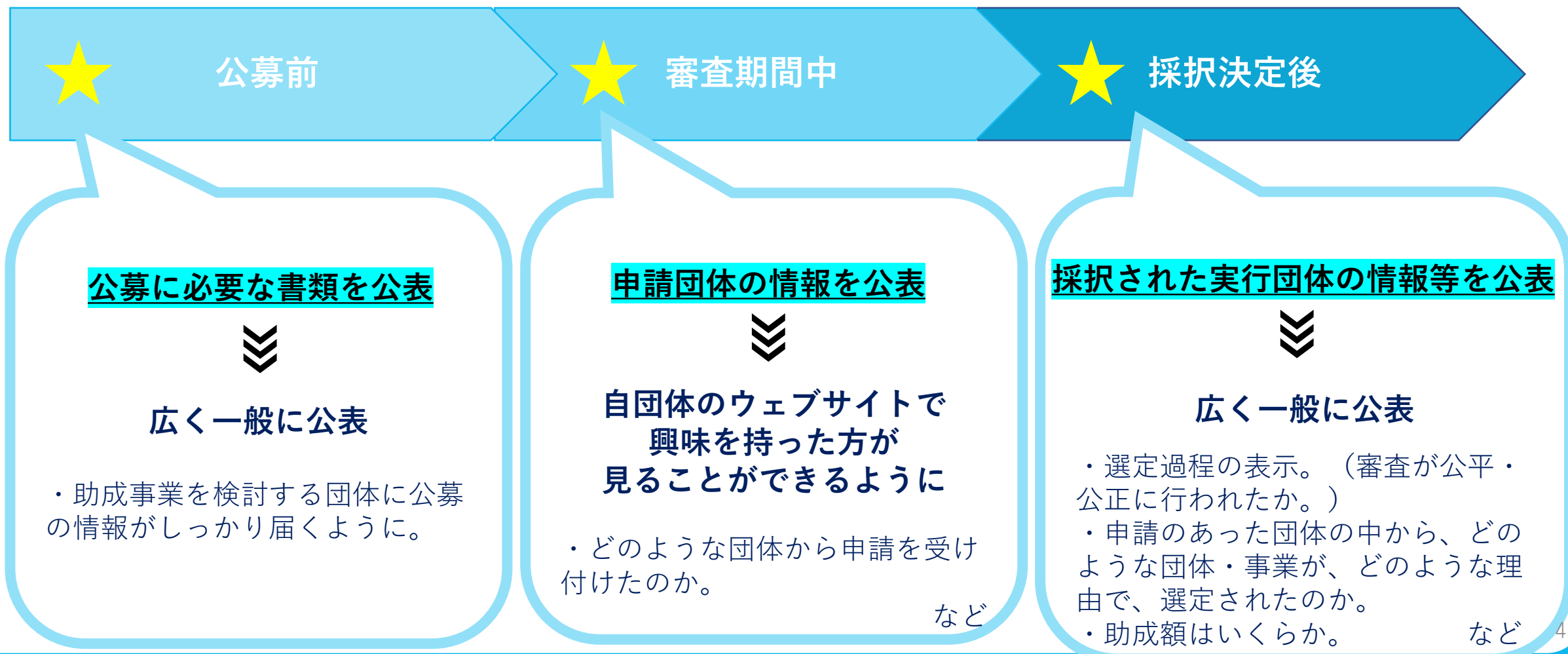
実行団体の公募で
「情報公開が求められている事項」

実行団体の公募で「情報公開が求められている事項」の復習！



「情報公開」のポイントとは？

事業が完了するまで、公開をお願いします！



【ご参考】 情報公開確認表

内定実行団体一覧表の
エクセルファイル内に
同書類があります。

[PDF](#) | [Excel](#)

【申請団体の公表（資金提供契約より）】	
第 4 章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定）	
第 17 条	
2. 乙は、 <u>実行団体の公募に申請した団体の情報（団体名・所在地・事業名・事業概要）を、募集終了時に乙の Web サイト上で公表するものとする。</u>	
選定時公開項目チェック表【申請団体】	
団体名	
所在地	
事業名	
事業概要	

【採択団体の公表（資金提供契約）】	
第 4 章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定結果の開示）	
第 18 条	
1. 乙は、 <u>選定した実行団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、選定された各実行団体に対する助成の総額及び内訳並びにその算定根拠を、乙の Web サイト上で広く一般に公表しなければならない。ただし、公表にあたっては、当該実行団体の正当な権利又は利益を損わないように配慮しなければならない。</u>	
選定時公開項目チェック表【採択団体】	
選定過程 ※ 1	
団体名	
事業名	
事業概要	
選定理由	
助成額（総額）	
助成額（内訳）	
算定根拠 ※ 2	

※ 1 選定過程に関して

選定過程を公表することにより、実行団体の選定が公正・公平に行われたことを示すことが目的です。
公表の形は問いませんが、「公募の実施」「第三者の専門的知見を取り入れることができる会議体の組成と開示の実施」などがわかる形で選定過程をまとめ公表してください。

――――
〈以下、資金提供契約より抜粋〉

第 4 章 実行団体の選定・監督

（実行団体の選定）第 17 条

1. 乙は、公募の方法により、実行団体を選定するものとする。
5. 乙は、実行団体の選定にあたっては、実行団体の選定の公募に申請する団体（以下「選定申請団体」という。）との面談を行うとともに必要に応じて現地調査を行い、併せて外部専門家から構成される会議体等、第三者の専門的知見を取り入れることができる会議体（以下「審査会議」という。）を組成し、審査会議をして選定申請団体の審査を行い、乙の理事会等の意思決定機関で決定するものとする。
- 乙は、係る審査の過程において、審査会議の構成員と選定申請団体との間で利益相反の問題を生じないように配慮するものとする。

※ 2 算定根拠に関して

当初は実行団体の事業計画や資金計画をPDFでアップしていただく方向で考えておりましたが、皆さまへのご負担を削減するために、実行団体の計画に基づいて算定されたことを示す文言（例）「※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております」を入れていただくことで、算定根拠の公表とさせていただきます。

なお、もし事業計画・資金計画を見たいという問い合わせがあった場合は、個別対応（据え置きでご覧いただくなど）をお願いします。

事例

・

参考資料

【事例】 通報事例

〔通報内容〕

実行団体の採択に関して、「公募」という形をとっているが、資金分配団体が採択しようとしている団体が既に決まっているようだ。



〔対応〕

当該資金分配団体へ連絡、通報内容を伝達
(※通報者より、伝達していいとの許可応諾済)

★公募については透明性などに十分留意するように伝え、了解を得た

丁寧な情報公開・広報＝リスクを低減する

【参考資料】公募実施にあたって、参考となる資料

- 「データ集」

- 各資金分配団体の申請団体数や採択団体数、助成額などを一覧表示しています
(1.2 資金分配団体が実施する「実行団体の公募」についてP17-25) ([リンク](#))

- 「公募結果報告」

- 19年度通常枠 ➡ [PDF公開 ([リンク](#))]
- 20年度コロナ枠 ➡ [PDF公開 ([リンク](#))]
- 20年度通常枠 ➡ 「システムで公開休眠預金活用事業サイトで公開 ([リンク](#))」
(検索窓で、「公募結果報告」を検索してみてください！)

(21年度事業については公開準備中。)

- 「資金分配団体の過去の公募ページ」

- 上述で気になる団体について、確認してみてください。

確認

①シンボルマークの掲出

- ・シンボルマークの掲出をお願いします。

(資-J) 資金提供契約第28条 1

乙は本事業を実施する又は実行団体をして民間公益事業を実施させるにあたり、休眠預金等交付金に係る資金を活用して実施する事業であることを示すため、**甲が指定するシンボルマークを表示**し、又は、**実行団体をして表示させる**ものとする

【データはこちら】

JANPIAサイトトップページ>団体専用>休眠預金を活用した事業シンボルマーク関連情報

<https://www.janpia.or.jp/dantai/symbol/>



舞い上がれ
社会を変える
みんなの力

休眠預金を活用した事業です

情報発信時のシンボルマークの活用例



プラスソーシャルインベストメント/京都北都信用金庫
(採択結果の公表・メディア発表)



公益財団法人 オリオンビール奨学財団



プレスリリースやウェブサイトなどでの活用



※バックパネル1台ですが貸出可能

②規程類の公開

- 規程類の公開をお願いします。

(資一実) 資金提供契約第14条3

3. 乙は、第1項第2号及び第4号に定める**ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程を、乙のWebサイト上等で広く一般に公開する**ものとし、変更があった場合は甲に遅滞なく報告するものとする。

公開は、整った規程から順次進めてください。

特に、「実行団体の公募」申請時にご提出いただく「ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書」の**ステップ1【資金提供契約書締結時までに確認をしておきたい事項】**に関する規程類については、実行団体に採択されたら、できるだけ速やかに公開してください。



【ご参考】

ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書

ステップ1

【資金提供契約書締結時までに確認をしておきたい事項】

これを満たす規程の参考資料を団体ページに公開しています。資金分配団体が実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制の整備を支援する際の参考資料としてご利用ください。

[PDF](#) | [Word](#)

ひな形●

申請時提出資料

ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書（実行団体）

事業名:

団体名:

ガバナンス・コンプライアンス体制の現況(申請時)について、適切な資金管理をはじめ事業実施に必要な意思決定や進捗管理等に必要なルール等の整備状況を本確認書にて申告いただきます。

■ ステップ1

以下について、申請時点での現況を確認します。

採択に至った場合には、以下の要素を確認しつつ事業を進めていくこととなるため、申請時に事前に確認を行うものです。
なお、採択に至った場合に、現況を踏まえてさらに体制強化を図る予定がある場合はその内容についてご記載ください。

【資金提供契約書締結時までに確認をしておきたい事項】

1. 適切な資金管理を実現する体制について

Q1. 資金管理全般に関するルールが明確化されている場合、どのような形で明確化されているのかを具体的に記載ください。

例) 事務処理ガイドライン、手順書などに沿った実務運用など

※単にガイドラインや手順書、規程類が用意されているにとどまらない、実効性が確保されていることが重要です。

Q2. 経理担当者(入出金の実務を行う担当者)の現況(専任者の有無、常勤・非常勤、その他対応状況など)について記載ください。

※事業実施の当事者と資金の管理(出金処理などの管理実務)は分離されていた方が、適切性が向上すると考えられます。

例) 経理担当者は事務局に配置された職員(常勤)であり、事業実施担当者とは区別している。

2. 今回申請事業を事業実施期間中を通じて適切に実行できる体制の有無

Q3. 経理責任者による管理体制(経理担当者の実務を管理する体制)、理事会の運営など、組織としての意思決定の体制について記載してください。

例) 事務局長が経理責任者として経理事務を管理監督している。また、定款の規定に基づき理事会が設置され、理事会の理事の構成については特定の企業・団体等からの独立性を確保しており、社員総会は定款の規定に基づき適切に運用されている。

■ ステップ2

事業が採択された場合に、資金提供契約締結以降、段階的に対応が必要となる以下の事項についての現況の確認を行います。

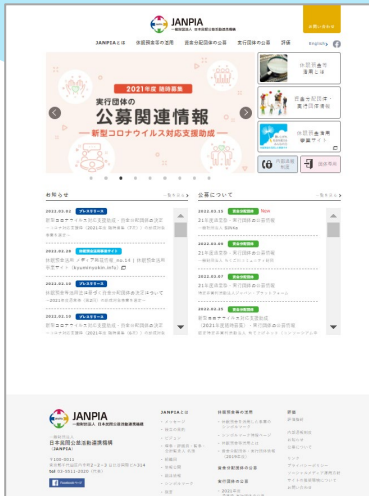
お願い

①JANPIAへの公募情報の連携

- JANPIAにも「実行団体の公募」のお問い合わせがよくきます。
- 公募情報をJANPIAでも「広く一般に公表」していきます。
- 公募開始の情報の連携をよろしくお願いします！

JANPIAのサイト

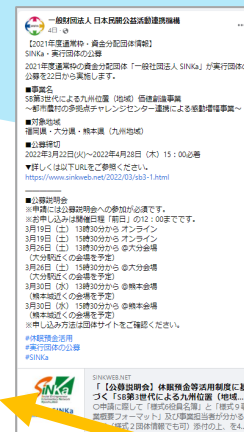
- お知らせ
- 実行団体の公募



JANPIA Facebook

- 公募情報の紹介

Facebook



休眠預金活用事業サイト

- 公募情報の紹介
(記事 & tweet)



フォロー、ぜひします！

②SNSでの情報発信での「#ハッシュタグ」

- SNS情報発信の際は、ハッシュタグをよろしくお願いします！

#休眠預金活用

【休眠預金活用事業】

公募説明会 & 申請書の書き方勉強会を開催しました！

販路開拓・商品企画・経営支援の3つの側面から農業経営者をサポートし、農業総合プロデュースを展開する株式会社クロスエイジ（本社：福岡県春日市 代表取締役社長 藤野直人）は、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）が公募する「休眠預金等活用法に基づく資金分配団体」として採択されたことに基づき、公募説明会を2022年12月23日・2023年1月18日・2月16日（計5回）、申請書の書き方勉強会を2023年2月9・13日（計2回）にて開催いたしました。

#休眠預金活用

詳しい内容はこちらから

↓↓↓

<https://starfarmercloud.com/blog/noufuku/01>

【休眠預金活用事業】

公募説明会 &
申請書の書き方勉強会を
開催しました！



STARFARMERCLOUD.COM

公募説明会 & 申請書の書き方勉強会を開催 | スター農家 農福連携推進事業

【スター農家による農業×福祉の連携強化に向けて】「地域のスター的な農家による農福連携...

9月30日 8:55

【第一回イベント・南阿蘇食堂を開催しました！】

落ち葉がだんだん増え、秋を感じる9月25日、休眠預金助成金活用第一回目のイベントと南阿蘇食堂を開催しました！

100名を超える方々が足を運んで下さり、笑顔溢れる会になりました。

第一部は外国籍の方を対象に村の防災官の協力のもと、災害対策講座を。

その後、日本文化の紹介として剣道と太鼓の時間を設けました。

緊張している子どもの表情や、演奏中のキラキラした笑顔...そしてネパール出身の方から、自然に拍手が沸き起こって、素敵な空間になりました。

第二部はグループディスカッション。外国籍の方々が多くいらっしゃるこの地域で、将来インターナショナルカフェを開催していけたらと考えてます。その前段としてのこのディスカッション。南阿蘇在住、在勤の方にファシリテーターと進行をお願いしました。（村上カオさん、本山香葉子さん）

南阿蘇の良いところやあったら良いなと思うことなど、子どもから高齢者、外国籍の方々と交えて、色々な意見が出ました！

子どもの発想は素晴らしいと思わせてくれる瞬間でした。

第三部は南阿蘇食堂と名付けた地域食堂。地元の厚生保護女性会の方がボランティアでとても美味しい食事を作ってくださいました。

食材には、たのくろ農園、果の風農園、くまもと清陵高校、いっこ農園...と地元の野菜などを購入して活用しました。

翌日、沢山の方から

「良かったよ〜」「面白かった」「最高だった」「楽しかった！」「美味しかった」「また行きたい」と、声をかけていただきました。

今回のイベント・地域食堂は休眠預金の助成金を活用し、もっと元気に】を目的とした事業です。

色々な支援がある事で、ここまで盛大にスタートさせ繋がりを実感できました！

忙しい中、手伝いに来て下さった方、本当にありがとうございました。また一回の開催ですが、手応えを感じています。色々なご縁が繋がって、それぞれに役割がある。これ입니다。

今後のスケジュールです！

10月30日（日）15時〜 子育て支援関連ワークショップ

11月10日（日）10時〜 アイデアカレッジ文化祭、eスポーツ体験

11月27日（日）10時〜 VR認知症体験会、南阿蘇食堂

面白い企画を考えています！

またご参加くださいな よろしくお祈りします。

#休眠預金活用

#JANPIA

#支え合う多様なコミュニティづくり支援事業

#南阿蘇ケアサービス

#地域食堂

#南阿蘇食堂



④実行団体の「情報発信の基盤整備」

実行団体の事業計画策定時あるいは見直し時等でアドバイスする際にご検討いただきたいこと

- 実行団体の中には、「ウェブサイトがない!」「SNSをやっていない!」など情報発信の基盤が整っていない例があります。
- 本事業の情報公開に要するの費用（Web制作、シンボルマーク掲出に係る費用など）も計上可能です。
- 情報発信は実行団体の事業継続性などの観点から重要な要素です。
- **実行団体が継続可能な形での「情報発信の基盤整備」の検討を、よろしくお願いします。**

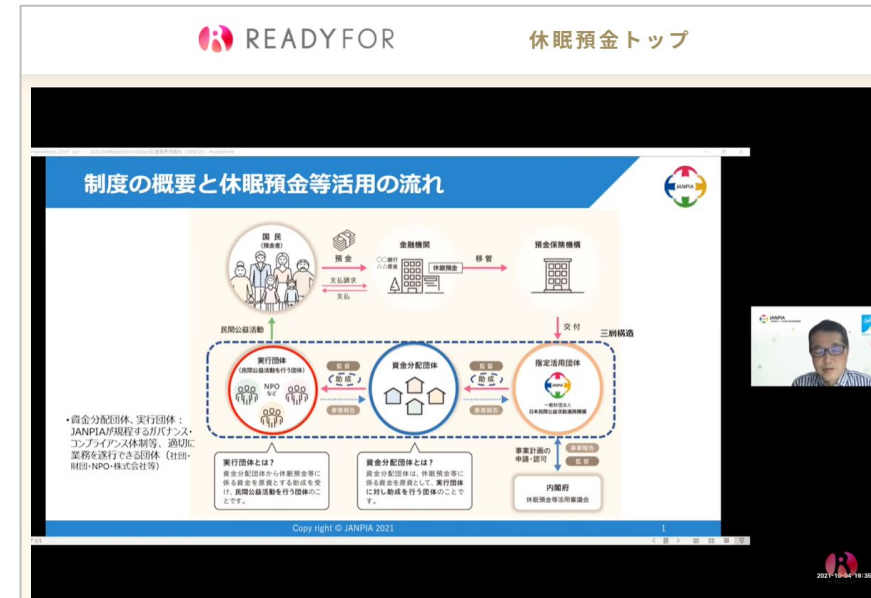
最後に

！ JANPIA 企画広報部をぜひ活用ください

- ・プレスリリースの事前確認（文言の確認など）
- ・プレス発表のお手伝い（休眠預金活用事業の全体の説明） などなど



実行団体 よしもとラフ&ピース
（株）外国人記者クラブでの
休眠預金活用事業の発表



READYFOR
公募に関するメディア向け発表での
休眠預金活用事業の説明

！ JANPIA 企画広報部をぜひ活用ください

- ・ 休眠預金活用事業サイトでは、「取材」はもとより「イベント告知」「成果物掲載」等も行っています。

[イベント紹介]

2023年03月14日 公開 イベント07

イベント 3/22(水)

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会 (オンライン開催) のご案内

休眠預金活用事業に係るイベント・セミナー等をご案内するページです。今回は、一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF) が主催する「『地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業』成果報告会 (オンライン開催)」を紹介します。

f t

・ 「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会

3/22 [水] Online Event 12:30-14:00

SIIF Social Innovation and Investment Foundation 社会変革推進財団

休眠預金事業の成果を考える

地域を活性化させる
ソーシャルビジネスの挑戦

PANEL DISCUSSION

御蔵川 森山 崇美 代表取締役
Renovater 松本 知之 代表取締役
Ridlover 安部 敬樹 代表取締役

一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF) は、JANPIAが提示する「優先的に解決すべき社会課題」のうち、「地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援」に関する

気になるワード

休眠預金活用事業サイト

制度の間にある
外国人の医療支援を担う

活動スナップ
「SDGs達成に貢献する ボランティア・プロボノセミナー」...

メディア掲載
休眠預金活用 メディア掲載情報_no.26

最新コロナ及び東日本大震災、熊本地震対応支援 (4次) 資金分配団体が決定！

2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分配...

JANPIAの活動
2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分配...

JANPIAの活動
2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分配...

Home

最新の投稿

休眠預金活用とは

巨大災害における雇用対策 ——災害社会科学から学ぶ | 日本労働研究雑誌 2022年12月号 (No.74)...

団体の活動

休眠預金活用事業に取り上げられた論文を紹介する「論文紹介」。今回は...

JANPIAの活動

JANPIA 広報担当 | 8 views

2023/03/14 16:30

業務改善活動

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会 (オ...

関係者インタビュー

休眠預金活用事業に係るイベント・セミナー等をご案内するページです。...

活動スナップ

JANPIA 広報担当 | 11 views

2023/03/14 13:19

成果物・レポート

「誰ひとり取り残さないために災害時に向けて平時からできること ～ネットワークの重要性...」

イベント・セミナー

JANPIA主催 | 休眠預金活用事業「課題・テーマ別ラウンドテーブル」第...

メディア掲載

JANPIA 広報担当 | 28 views

2023/03/10 17:37

論文紹介

2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分配団体が発表されました

実行団体の公募情報

ランキング

教えて！「休眠預金活用」っていったい何？ 事務局長に聞きま...

休眠預金活用事業サイト 第2版 第2版

JANPIA主催「休眠預金活用事業・調査研究シンポジウム」...

JANPIA 広報担当

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性化

いつでもお問い合わせください！

メール

info@janpia.or.jp

電話

03-5511-2026（企画広報部 直通）



情報発信の際は、ハッシュタグ「#休眠預金活用」！